ポスター発表者一覧/Poster Presenters List

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.	研究紹介/Resea	rch Introduction							
人文	·社会/Human	ities and Social Sci	ences						
1	人間·環境学研究科 人間·環境学専攻	秋山 ゆい	AKIYAMA YUI	自由学園における「家族」という文化	SPRING	1			
1		21年に創設された自由学校において大きな役割を		えられ、学級内には生徒6人グループから成る「家族」が作られた	。この「家族」	の存在			
2	人間·環境学研究科 共生人間学専攻	加茂 晶穂	KAMO AKIHO	他者の信頼感の印象形成におけるエピソード記憶と意味記 憶の役割を媒介する 神経メカニズムとその加齢変化	SPRING	2			
2	他者に対する信頼感 受けるのか、fMRIを		勿に関する記憶がどのように参照さ	れるのかについて,基盤となる脳のメカニズムと,それが加齢に	よってどのような	3影響を			
3	文学研究科 行動文 化学専攻	梁 光宇	LIANG GUANGYU	日本における社会的信頼と移民権利の付与:構造方程式 モデリングによる分析	SPRING	1			
3		構造方程式モデリングによ 低減させることが明らかにな		。 仮説を検証した。社会的信頼は権利付与への支持を直接的	に高めると同じ	時に、			
4	総合生存学館 総合 生存学専攻	Roche Kevin Aime Jacques	ROCHE KEVIN AIME JACQUES	"Sense Foraging" in traditional settings	SPRING	1			
4	_		-	oration. Explore how traditional Japanese culture a sence to oneself, to others, in connection with the	_				
5	教育学研究科 教育学環専攻	WOODMAN KATARINA LYNN- IRENE	WOODMAN KATARINA LYNN IRENE	サプライザル反応とアクセント・バイアスの相互作用が日本語 母語話者の理解に及ぼす影響	SPRING	2			
		会話は予測によって理解されるが、その予測は思い込みに左右される。例えば「外国人は日本語を話せない」と考えると、実際に日本語を聞いたとき理解が妨げられる。本研究は、日本語母語話者が外国人の日本語をどう知覚するかを明らかにするものである。							
情報	g•AI∕Informati	cs and Al							
	情報学研究科 情報学再攻	CAI MING	CAI MING	Learning Causal Graphs Involving Latent Variables Using Higher-Order Cumulants	SPRING	2			
6	We introduce a novel method using higher-order cumulants of observed variables to identify the causal DAG over latent variables. The proposed method can also estimate the ancestral relationships among observed variables. Simulation results demonstrate that the proposed method outperforms existing methods. The proposed method contributes to extending the applicability of LvLiNGAM-based frameworks to more realistic scenarios.								
_	理学研究科 地球惑 星科学専攻	船曳 祐輝	FUNABIKI YUKI	光ファイバーケーブルで得られた地震波記録に見る、小-中規模地震の破壊様式	SPRING	1			
7	光ファイバーケーブルを 様式を持つことを明ら		。 『を測る、DASと呼ばれる技術を利	利用し、従来の地震計では「点」としてしか見なせない小-中規格	莫地震が複雑	な破壊			
	情報学研究科 情報 学専攻	GU XIAOSI	GU XIAOSI	Compressed Sensing with Nonconvex Penalties: A 1RSB Message-passing Approach	SPRING	3			
8	nonconvex penalt	ties can surpass ℓ 1 l	imits, but the nonconvexits, inspired by replica symn	rrucial for imaging and communications. SCAD and y of the loss induces multiple solutions. We proposnetry breaking from statistical physics, and achieve	e an algori				
9	情報学研究科 情報 学専攻	李 凌叡	LI LINGRUI	Block Coordinate Descent Network Simplex Methods for Optimal Transport	SPRING	1			
9				Block Coordinate Descent Network Simplex method applies the network simplex method to smaller su					
10	情報学研究科 情報 学専攻	Liu Yang	LIU YANG	Do LLMs Align Human Values Regarding Social Biases? Judging and Explaining Social Biases with LLMs	次世代AI	2			
This paper investigates whether large language models align with human values regarding social bias. We find that large la models exhibit differences in alignment with human values across various social bias scenarios.									

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年				
Poster No.	Affiliation 研究紹介/Resea	Name arch Introduction	Name in English	Presentation Title	Program	Year				
	情報学研究科 情報 学専攻	牛島 唯登	USHIJIMA YUTO	ロボットいじめとユーモア	SPRING	2				
11	· ·	人とロボットの関わりにおける課題に取り組み、ロボットいじめの観察や文化差の分析、ユーモアを用いた行動変容実験、大阪での道案内ロボット実証を通じ、人に受けれる社会実装を目指す。								
	情報学研究科 情報学専攻	趙 雨欣	ZHAO YUXIN	Making You Funny: A Humor Support System for Avatar Robots	次世代AI	3				
12	Humor is complex and context-dependent. We propose a humor support framework for avatar robots, where large language models suggest context-sensitive humor to assist human operators. Deployed in a shopping mall, our system demonstrates how operator support can enable natural humorous interaction and enhance customer engagement.									
	情報学研究科 情報 学専攻	Zhu Yihua	ZHU YIHUA	Combining Large Language Models and Knowledge Bases in Complex Question Answering	SPRING	3				
13	While LLM-only a	pproaches offer gene framework that effec	eralization, they suffer from	tural language questions using structured knowled noutdated knowledge, hallucinations, and lack of testions to tackle complex KBQA questions unsolvable by	ransparenc	y. We				
	情報学研究科 情報学専攻	ZHUANG WENHUI	ZHUANG WENHUI	From FEM to Prediction: Learning Force-Induced Deformation Patterns from Visual Information	SPRING	3				
	forces experientia	ally, this knowledge r		es is observed from single viewpoints. While surge idy combines extensive FEM simulations with data- view observations.						
量子	✓ Quantum Sci	ence and Technolo	ogy							
15	理学研究科 物理学· 宇宙物理学専攻	草野 透志	KUSANO TOUSHI	173Yb原子を用いたスピン猫状態量子ビットの制御	SPRING	3				
13	本研究では、偏ったノイズ構造を持つ量子ビットを実現するため、173Yb原子を用いてスピン猫状態への符号化を行なった。本講演では実験の詳細について報告する。									
16	工学研究科 電子工学専攻	丸山 ゆう	MARUYAMA YUU	イオンゲートを用いたCo/PtスピントロニクスTHzエミッタの変調	SPRING	2				
	高効率・広帯域なTH z 発生源として、強磁性体/非磁性体からなるスピントロニクスTHzエミッタ(STE)が注目を集めている。発表ではSTEの動作原理や、イオンゲートを用いたTHz波の強度変調について説明する。									
17	理学研究科 物理学· 宇宙物理学専攻	橘 刀生	TACHIBANA TOI	スピン偏極を考慮した核物質の状態方程式の研究	SPRING	1				
17		である核物質の状態方程 質に対して状態方程式を排		 どの天体現象を理解する上で極めて重要である。中でも本研究	そでは、核子の	コスピン				
18	理学研究科 物理学· 宇宙物理学専攻	若月 大暉	WAKATUKI TAIKI	分子運動論を利用した金融市場の取引コストの推定	SPRING	1				
10		融経済学の学際研究です で引コストに注目し、理論解		分子運動論という解析手法を金融市場の数理モデルに適用し	ます。本研究	では取				
マテ!	Jアル/Materials	s Sciences								
19	理学研究科 化学専攻	安東 智大	ANDO TOMOHIRO	発光タンパク質イクオリンについての理論的研究	SPRING	3				
19	オワンクラゲから抽出るド手法を用いた解析を		リンにおける、基質分子セレンテラ	ジンの化学発光反応過程について、量子化学計算とMDシミュ	レーションのハ	イブリッ				
20	理学研究科 化学専攻	江尻 智森	EJIRI TOMO	光駆動アニオンポンプロドプシンの初期輸送メカニズム	SPRING	2				
20	光刺激により機能する ミュレーションを用いて		ンの原子レベルでのアニオン能動軸	輸送メカニズムについて, 量子化学計算と古典分子動力学計算	 [によるハイブリ	ッドシ				

ホ° スター					採用				
番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.	研究紹介/Resea	rch Introduction			T				
21	人間·環境学研究科 相関環境学専攻	傅 馨怡	FU XINYI	Diameter Controllable Separation of Single- Walled Carbon Nanotubes by Simply Changing the Metal in Phenanthroline-Based Supramolecular Polymers	SPRING	2			
	We report a method for diameter-selective separation of single-walled carbon nanotubes using metal-coordinating supramolecular polymers. Owing to differences in metal-phenanthroline geometry, palladium- and cobalt-based polymers preferentially extract smaller and larger tubes, and their combined use enhances overall selectivity.								
22	理学研究科 化学専攻	長谷川 晃央	HASEGAWA AKIO	ペロブスカイト表面修飾におけるエチレンジアンモニウムのカウン ターアニオン効果と太陽電池への応用	SPRING	3			
22	金属ハライドペロブスな 貫して取り組んでいる		電池が注目されている。高性能力	デバイスの作製のため、有機化学の視点から材料の設計、合成	、デバイス評価	話で一			
23	理学研究科 化学専 攻	畠中 崚志	HATAKENAKA RYOJI	二重連結したアズレン二量体:ペリレンの構造異性体の短 工程合成	SPRING	1			
23		香族炭化水素は狭いHC その電子物性を明らかにし		幾材料の主骨格として有望である。本研究では、アズレンを二重	連結したペリ	レンの構			
24	工学研究科 分子工学専攻	東尾 圭真	HIGASHIO KEIMA	フッ素化キュバンーフルオレン連結系における光誘起電子移動の観測	SPRING	1			
24		- -である全フッ素化キュバンを 電子カップリングを示した。	・ を用いて、ドナー分子と連結し、分	」 ↑子内光誘起電子移動を観測した。三次元的な分子構造に由	またして、大き	な再配			
25	工学研究科 合成·生 物化学専攻	黄 凱	HUANG KAI	Integration of metal-organic frameworks with nanoendoscopy for intracellular delivery of unstable biomolecules	SPRING	3			
25	within cells. Here	The intracellular delivery of biomacromolecules sometimes remains challenging due to its susceptibility to enzymatic degradation within cells. Herein, we designed a novel system by integrating biomimetic mineralization strategy using metal-organic frameworks with nanowire endoscopy technique, to achieve the efficient and stable delivery of unstable biomacromolecules into single live cell.							
26	理学研究科 化学専攻	池田 賢太	IKEDA KENTA	新規Pt-Pd-P非晶質ナノ粒子の合成とその触媒特性	SPRING	1			
20	原子配列が不規則な非晶質ナノ粒子は高い触媒性能を示す一方、多くの組成で熱力学的に不安定であるため組成空間探索が未成熟である。本研究は新規組成であるPt-Pd-P系で非晶質ナノ粒子を合成し、触媒特性を評価した。								
27	工学研究科 高分子 化学専攻	JIANG ZHENGZHAO	JIANG ZHENGZHAO	Precision Syntheses of Acrylamide-Vinyl Alcohol Alternating Copolymers	SPRING	3			
21			・ ベンジルエーテル結合を有するアク アクリルアミドービニルアルコール交	・ リレートとビニルエーテルからなるジビニルモノマーを設計し, その 互共重合体を合成した。	ラジカル環化重	合と重			
20	理学研究科 化学専攻	上出 友哉	KAMIDE TOMOYA	グラファイト磁気浮上センサーによる力検出NMR	SPRING	2			
28	グラファイトは永久磁 利用して、核磁化の		か、様々なセンシングへの応用が其	明待されている。本研究では、低損失で大きな浮上効果を持つ	グラファイト浮 ₋	上体を			
29	理学研究科 化学専攻	KIM YONGJIN	KIM YONGJIN	5-アゾニアスピロ[4.4]ノナンカチオンを対成分とするTCNQ、 F4TCNQ錯体における柔粘性の発現	SPRING	1			
29		AS[4.4]とTCNQの1:2塩は、AS[4.4]の秩序-無秩序転移に伴う物性変化を示した。 AS[4.4]とTCNQ、F4TCNQの1:1塩も、柔粘性に起因すると考えられる物性変化を示した。							
30	理学研究科 化学専 攻	木下 絵里加	KINOSHITA ERIKA	帯電した脂質/水界面における電気二重層中の水の水素結 合ダイナミクス	SPRING	2			
50		まを用いて、水界面の水素 水の存在を明らかにしました		- 研究では、界面構造が電気二重層中の水のゆらぎに与える影	響に着目し、	従来報			
31	工学研究科 合成·生物化学専攻	松本 祐輔	MATSUMOTO YUSUKE	Phosphoramidite-Based Ligands Attached to Dynamic Helical Poly(quinoxaline-2,3-diyl)s	SPRING	2			
J1	動的キラルらせん高ケ配位子を開発した。		対して、ホスホロアミダイト配位部	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	空配位子およで ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	び二座			
32	理学研究科 化学専攻	三宅 悠季	MIYAKE YUKI	ペロブスカイト太陽電池高性能化のためのカチオン性単分子 電子回収材料の開発	SPRING	2			
J2	次世代太陽電池として注目されているペロブスカイト太陽電池を高性能化するためには、優れた電荷回収材料の開発が必要不可欠である。本研究では近年注目を集めている単分子膜で用いる電子回収材料(n型材料)について発表する。								

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.	研究紹介/Resea	rch Introduction							
33	理学研究科 化学専 攻	宮﨑 和哉	MIYAZAKI KAZUYA	ヘリングボーン交互積層構造を形成したテトラベンゾポルフィリンの電荷輸送特性	SPRING	2			
33	-	テトラベンゾポルフィリン(Ph-TBP)の再結晶化と加熱処理により、新規「HB交互積層構造」という特異な形態を発見し、実際に単結晶OFETを作製したところ11cm²V-1s-1の高移動度を達成しました。							
34	理学研究科 化学専 攻	村上 英之	MURAKAMI HIDEYUKI	Retro-Diels-Alder反応を駆動力とした超分子重合	SPRING	2			
24	溶媒に対して難溶なn拡張分子を導入したモノマー分子の超分子重合により半導体性超分子ポリマーの形成を目指している。そのために、retro-Diels-Alder反応を利用した超分子重合法の開発を行った。								
35	理学研究科 化学専攻	根来 大基	NEGORO MASAKI	芳香族ポリイミドエアロゲルの化学構造と細孔構造の関係性	SPRING	3			
33		ズの微細な細孔を有する(の関係性について調査し		- は、芳香族ポリイミドと呼ばれる有機高分子を主成分とするエア	ロゲルについて	、その			
36	工学研究科 分子工学専攻	西田 佳史	NISHIDA YOSHIFUMI	亜リン酸を用いたn共役骨格への直接的リン原子導入反応 の開発	SPRING	1			
30	取り扱い容易な亜リン能になると期待できる		への直接的なリン原子導入反応な	を開発した。本反応を用いることで、リン原子の特徴を活かした根	幾能性分子開	発が可			
37	理学研究科 化学専 攻	西口 大智	NISHIGUCHI TAICHI	金属分子ハイブリッドガラスが示す準安定構造の制御と熱物 性開拓	SPRING	1			
37	金属と分子から組み上がるハイブリッドガラスを対象とし、ガラス特有の準安定状態や複数の準安定構造を制御することで、新たな熱物性をもったガラスの創製をおこなっている。								
	工学研究科 物質エネルギー化学専攻	HACATRJAN SCHANTH	SCHANTH HACATRJAN	Transition Metal Fluorides and Sulfides for High Energy Density Batteries	SPRING	3			
38	cathode systems.	However, the high v	olume changes and forma	densities than the currently commercialized interction of resistive products lead to low cycling life. Tand increase cycle performance.					
39	工学研究科 合成·生物化学専攻	塩見 綜環	SHIOMI SOKAN	フルオレン縮環Blatterジラジカルと9,9'位で二量化した交差 共役型テトララジカルの合成と物性	SPRING	1			
39	本研究では2,7-ジアミノフルオレン誘導体から縮環型ジラジカルの合成を行い、9位ジメチル体ではジラジカルが、無置換では9位で結合されたテトララジカルを得た。 本発表では両化合物の物性の詳細について報告する。								
40	工学研究科 物質エネルギー化学専攻	田中 奏多	TANAKA KANATA	嵩高いホスフィン配位子で保護されたカチオン性鉄55核ナノ クラスター	SPRING	2			
40	本研究では、クラスタ	-化学の未踏領域であった	:鉄ナノクラスターの単離に成功し	た。当日では、合成手法や性質についてポスター形式で詳しく角	 発する。				
	医学研究科 医科学	WANG WENCONG	WANG WENCONG	The Role of TARDBP in the Class Switch Recombination	SPRING	3			
41	generation of diff	erent classes of antib	odies. TARDBP is one of th	oodies. Here, we focused on the CSR process which ne hnRNPs involved in nearly all aspects of RNA me s demonstrated that TARDBP promotes DNA cleave	etabolism. I				
42	理学研究科 化学専攻	呉 迪	WU DI	Development of multiple-resonance circularly polarized TADF materials and investigation of their photophysical properties	SPRING	2			
			mitter for circularly polarize roperties and device perfo	ed luminescence (CPL). I designed and synthesized rmance.	d MR helice	nes			
	工学研究科 合成·生 物化学専攻	向 湘梅	XIANGMEI XIANG	Viscosity control of the type 1 porous liquid	SPRING	3			
43	物化子等以								

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年		
Poster No.	Affiliation	Name arch Introduction	Name in English	Presentation Title	Program	Year		
110.		irch Introduction						
44	理学研究科 化学専攻	吉永 公平	YOSHINAGA KOHEI	サイト選択的置換による新奇遍歴電子磁性の探索	SPRING	3		
	リンやヒ素などの15属元素を含む化合物はその電気陰性度から,金属とイオン結晶の中間の特異な電気伝導性を示すことが知られている。本研究は遷移金属ニクタイドの磁性に着目して新奇物性を探索する。							
健康	·医療·生命/H	ealth, Medical Scie	nces and Biostudies					
45	医学研究科 医科学 専攻	青島 友葵	AOSHIMA YUKI	細胞競合を介した変異細胞排除におけるCD44の機能的役割	SPRING	1		
			での細胞競合により上皮層から排し 後構の制御メカニズムの解明に挑る	除される。変異細胞で発現上昇する膜タンパク質CD44は変異 む。	【細胞排除を】	正に制		
46	生命科学研究科 高次生命科学専攻	行天 悠一郎	GYOTEN YUICHIRO	マウス成体脳海馬における新生ニューロンの因果構造の推定への寄与	SPRING	3		
46		を習の基盤であるが、その神 験とシミュレーションから明ら		らい。本研究では、新たな因果構造の推定に成体脳海馬新生	ニューロンが関	与して		
47	農学研究科 応用生 物科学専攻	家木 壮一	IEKI SOICHI	ナミテントウに見られる模様の性差の遺伝的基盤と進化	SPRING	1		
4/	生物のオスとメスの違究について紹介します		· 来どこへ向かってぃくのでしょうか。 .	テントウムシのオスとメスの模様の違いとその進化に着目して、この	の問題に取り終	目む研		
48	農学研究科 食品生 物科学専攻	石田 みのり	ISHIDA MINORI	乳脂肪球膜タンパク質ブチロフィリン1A1への曝露と腸管上 皮細胞の炎症反応	SPRING	2		
48	乳中の脂肪分は膜に包まれた球体の形をとり、ブチロフィリン1A1はこの膜上のタンパク質の一つです。私はブチロフィリン1A1が腸の免疫系に与える影響、例えば炎症 反応の変化などを調べています。							
49	医学研究科 社会健康医学系専攻	JURAEV JASUR	JURAEV JASUR	COST-EFFECTIVENESS OF HEPATITIS A VACCINATION USING A SIMPLE EXAMPLE FOR LOW- AND MIDDLE INCOME COUNTRIES.	SPRING	3		
			c health threat in low- and rsists due to perceived cost	middle-income countries (LMICs). Despite the available barriers.	ilability of	an		
F0	理学研究科 生物科学専攻	角田 史也	KAKUTA FUMIYA	ヤクシマザルによる花の食害がヤブツバキの結実に与える影響	SPRING	1		
50	屋久島のヤクスギ林に 結実に与える負の影響		ヤブツバキの開花期に花を大量に	・ 破壊して中の蜜を食べる。本研究では、ヤクシマザルによる花の	破壊がヤブツ	バキの		
	理学研究科 生物科 学専攻	金子 拓斗	KANEKO TAKUTO	パンコムギにおける育種と他個体認識の進化的関係性の解明	SPRING	1		
51	いくつかの植物は隣にて進化してきたのかを		認識・識別することができます。 こく	D能力が、現代の作物の収量向上に寄与してきたのか、また、ど	· ・のようなプロセ	:スを経		
52	工学研究科 マイクロエ ンジニアリング専攻	小石 翔太	KOISHI SHOTA	Development of an on-chip pancreatic adenocarcinoma model to investigate immune cell exclusion from the extracellular matrix in the tumor microenvironment	SPRING	1		
	findings show str	omal cells secrete pa		study NK cell dynamics in an ECM-rich microenvire ss NK cell infiltration. This platform is valuable for				
	生命科学研究科 高 次生命科学専攻	麥 瑞和	MAI SHUI WO	Genetic Analysis of Eiger/TNF-Grnd/TNFR Activation in Cell Competition	SPRING	2		
53	drives elimination	n. While polarity loss e endosomes. Additio	and basal Grnd relocalization	ls. Drosophila studies show Eiger/TNF–Grnd/TNFR on explain some cases, we discovered endocytotic ruption triggers competition, offering new insights	activation	of		
54	農学研究科 応用生 命科学専攻	松本 大空	MATSUMOTO HIROTAKA	Evaluation of the effects of sevoflurane, isoflurane, and desflurane on ion permeability of Bilayer lipid membranes	SPRING	1		
	Electrochemical r		that these anesthetics incre	hancing ion transport despite the membrane's barease ion transport currents, likely due to increased		n.		

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.	研究紹介/Resea	rch Introduction							
55	医学研究科 医学専攻	MENG XINNAN	MENG XINNAN	Preclinical Exploration of iPSC-derived Mesenchymal Stem/Stromal Cell (iMSC) Sheets for Pressure Ulcer Therapy	SPRING	1			
	iPS細胞から作製した	PS細胞から作製した幹細胞シートを用いて、難治性褥瘡の治療を目指す研究です。マウスモデルでの治癒促進効果とその仕組みを検討しています。							
56	生命科学研究科 高次生命科学専攻	永野 郁美	NAGANO IKUMI	tTSの検証によるTet-Onシステムの遺伝子発現漏れの最小化	SPRING	2			
		Fet-Onシステムによる遺伝子発現の漏れを抑制するためのtTSの検証を行っている。これにより、遺伝子発現の漏れのためにTet-Onシステムの使用が困難であった 易面でも遺伝子発現制御を可能にすることを目指している。							
	総合生存学館 総合生存学専攻	成瀬 文乃	NARUSE AYANO	Identification of novel factors that enhance protein folding in ER through FACS screening	SPRING	1			
57	efficiency in the e		n (ER) limits productivity.	for recombinant protein production. However, pro This study develops a forward genetics screening s					
F0	生命科学研究科 統合生命科学専攻	貫里 海斗	NUIZATO KAITO	生命現象の不確実性に着目した細胞競合モデル: ノイズと 時間ゆらぎが排除基準に与える影響	SPRING	1			
58				・ 研究対象とした。生命現象特有のノイズや時間ゆらぎを考慮し、	組織維持に	関わる			
F0	理学研究科 生物科学専攻	惣田 彩可	SODA AYAKA	The early bird catches mates: ミソサザイの非繁殖期の行動が繁殖成績に与える影響	SPRING	3			
59	動物の性選択において繁殖期以外の行動は軽視されてきたが、ミソサザイという鳥類において、非繁殖期における雄の行動がその個体の繁殖成績に影響することを明らかにした。								
60	工学研究科 電気工学専攻	鷲見 公崇	SUMI KIMITAKA	複数ミリ波レーダを用いた生体信号計測における多変量モード分解手法の適用	SPRING	3			
00	電波計測であるレーダは対象の位置・速度を計測でき、人体の生体信号計測への応用が期待されている。本研究では様々な位置・体方位で安定した精度を達成 するため、複数レーダを統合する信号処理を提案する。								
	医学研究科 医科学	WANG CHENXI	WANG CHENXI	Chracterizing hippocampal neural activity during mouse social behavior	SPRING	1			
61	individual conspe	cifics, focusing on the		memory. Our study aims to examine how it disting to clarify CA2's role in social identification and its of recognition.		ı to			
63	理学研究科 生物科学専攻	楊 霽	YANG JI	寄生か、それとも相利か?捕食者の記憶が擬態関係を左右する	SPRING	2			
62	捕食者の学習と記憶 影響を解明した。	は、擬態関係を互利にも	・ 寄生にも変化させ得る。 本研究は	・ は、連想学習を導入した理論モデルを通じて、捕食者の認知が な	疑態複合体に	うえる			
63	工学研究科 マイクロエ ンジニアリング専攻	YANG MEIXUAN	YANG MEIXUAN	Establishment of an iPSC-derived blood-brain barrier (BBB) model for investigation of dengue virus infection	SPRING	1			
63	accessing the cer	ntral nervous system	(CNS). In this research, w	ucture that is crucial to preventing blood-borne vir e examined the functionality of the microfluidic BB al-like cells toward virus-BBB interaction analysis.					
環境	・エネルギー・複合	全/Environment, En	nergy and Interdisciplin	ary Studies					
	農学研究科 生物資 源経済学専攻	堀江 亮祐	HORIE RYOSUKE	Profiles of organic vegetable consumers in Japan: Focusing on knowledge and psychological factors	SPRING	1			
64	Results show tha	t organic vegetable c	onsumers are characterize	es and their determinants using a market segment d by strong environmental concerns and high subj factors into policy and marketing strategies to inco	ective				

i° スター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
oster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.	研究紹介/Resea	rch Introduction							
	地球環境学舎 地球 環境学専攻	TAN Joycelyn	JOYCELYN SANTOSO TAN	The skull and osteoderms of Pelobatrachus nasutus (Anura: Megophryidae)	SPRING	1			
65	Pelobatrachus nasutus is a terrestrial ambush predator frog found in Southeast Asia. Micro-CT scans of their skull showed unique eatures like fusions and osteoderms, which had high variation. The skull seemed to be adapted for protective function in this species. This study provides foundational osteological information for future research.								
66	生命科学研究科 統 合生命科学専攻	勝田 櫻子	KATSUTA SAKURAKO	新規植物成長促進化合物PPGと関連天然化合物の機能 発現機構の解明	SPRING	1			
	当研究室で同定された新規化合物PPGは、植物の成長促進活性を持つ。PPGは構造や遺伝子発現の面において既知の植物ホルモンとは大きく異なることから、その作用機序の根底には未知の植物成長促進機構が存在すると考察した。本研究では、PPGの生理活性発現機構の解析を進めている。								
6 7	農学研究科 森林科 学専攻	小島 隼星	KOJIMA HAYASE	きのこの細胞壁合成制御機構の解明とマッシュルームマテリア ルの物性改変	SPRING	1			
67		包壁合成制御機構を明ら 1性に及ぼす影響を調査し		戏を制御する転写因子の機能を解析しました。 さらにはその遺伝	子欠損が菌	糸体レ			
68	工学研究科 社会基 盤工学専攻	松井 春樹	MATSUI HARUKI	汎用的な内水氾濫解析に向けた仮想下水道網の構築	SPRING	1			
		で発生する内水氾濫被認ら仮想下水道網を構築し		民的だが下水道データは必ずしも入手可能とは限らない. そこで	本研究ではス	tープン			
,	理学研究科 地球惑 星科学専攻	野村 鈴音	NOMURA SUZUNE	地球大気における準定常状態とブロッキング現象の関係	SPRING	1			
69									
70	農学研究科 森林科 学専攻	大上 迪士	OOKAMI TADASHI	河川水における微生物の供給源の解明を目的とした河川- 土壌-大気の群集比較	SPRING	3			
	河川水中の真菌と細菌がどこからきているのかを明らかにするために、大気と土壌、河川水中の真菌・細菌群集を調査した。細菌は土壌、真菌は大気から供給されている可能性が示された。								
	農学研究科 応用生 物科学専攻	佐野 奎志郎	SANO KEISHIRO	海洋主要ピコ真核藻類の種内個体群レベルでの季節動態 の解明	SPRING	1			
71	海洋の主要一次生産者とされているピコ真核藻類は、その細胞サイズゆえに各種における分布域や年間の増殖動態に関する研究が遅れている。本発表ではピコ真核藻類・緑藻トレボキシア藻綱Picochlorum geojenseが大阪湾における主要一次生産者であること、そして本種の存在量が環境条件の大きく異なる複数の季節に増加するという特性およびその要因について報告する。								
70	人間·環境学研究科 人間·環境学専攻	塩野 裕人	SHIONO YUTO	アザバッキーボウルの合成を指向したone-potニトロ還元環化反応と物性	SPRING	1			
72		分子内の環構造同士を窒 子導入の新たな合成指針		できる合成手法を確立した。これは、これまで困難であった環構;	造を多数有す	る湾曲			
70	農学研究科 森林科 学専攻	菅原 輝紀	SUGAHARA TERUKI	Supramolecular structure of star-shaped cellulose analogues	SPRING	1			
73	セルロースのモデル化で	合物として3本鎖星型セル	ロース類縁体を合成し、パッキング	・ が構造を調べることで、セルロース分子鎖の配向と結晶構造の関	係を探る研究	こです。			
74	農学研究科 食品生 物科学専攻	鈴木 哲史	SUZUKI TETSUSHI	Synthetic Studies on Spiroschincarin B, a Triterpenoid from Schisandra Incarnata: Construction of 1-Oxaspiro[6.6]tridecane Moeity	SPRING	1			
			- たスピロラクトンを含む特異な 5 球 トンの構築に成功したので合成の	「 景性骨格と,all-cis置換シクロプロパン骨格を有する点が特徴 詳細を報告する.	である. 当発	表では			
75	理学研究科 化学専攻	安村 洋輝	YASUMURA HIROKI	B/Cu(110)上における二酸化炭素水素化反応	SPRING	1			
75	原子配列の揃った銅 振動分光等の分析3		(B) を蒸着させることで構造を制	□ 御したB/Cu表面を作成し、二酸化炭素や水素の雰囲気下で	生成する吸着	 ・ 種を			
	Iネルギー科学研究科 I ネルギー応用科学専攻	内田 翔	UCHIDA TSUBASA	Sr0.95La0.05TiO3を中間層に用いた低コストREBCO線 材の検討	SPRING	2			
		がゼロになる超伝導物質を としない線材構造を検討す		気浮上列車、核融合炉などに必須であるが、構造上銀を必要	とし高価である	る。本			

ホ°スタ−					採用				
番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	プログラム	学年			
Poster No.	Affiliation	Name arch Introduction	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
人文	·社会/Human	ities and Social Sci	ences						
	人間·環境学研究科 人間·環境学専攻	秋山 ゆい	AKIYAMA YUI	自由学園における「家族」という文化	SPRING	1			
1		21年に創設された自由学 校において大きな役割を9		えられ、学級内には生徒6人グループから成る「家族」が作られた	。この「家族」	の存在			
2	教育学研究科 教育学環専攻	有海 春輝	ARIUMI HARUKI	社会的地位と制御焦点の関連における自己愛の媒介効果の検討 ーオンライン創作活動に着目して一	SPRING	1			
۷	本研究では、オンライメーター理論に基づき		社会的地位が目標・利得に対す	る志向性である制御焦点について,従来オフラインの文脈で検	討されてきたノ	イ ロ			
情報	·AI∕Informati	cs and Al							
3	情報学研究科 情報学専攻	平山 紗季	HIRAYAMA SAKI	地域医療情報連携ネットワークにおけるカルテ記事開示可否 要因の分析 -情報提供施設へのインタビュー調査による質 的研究-	SPRING	1			
		で医療情報を共有する「地 で明らかにした質的研究で		ー おいて、医療機関がカルテ記事を開示するかどうかを決定する要	因を、情報提	 !供施設			
4	情報学研究科 情報 学専攻	牛島 唯登	USHIJIMA YUTO	ロボットいじめとユーモア	SPRING	2			
4	人とロボットの関わりに け入れられる社会実		ボットいじめの観察や文化差の分	析、ユーモアを用いた行動変容実験、大阪での道案内□ボット	実証を通じ、	人に受			
	情報学研究科 情報 学専攻	趙 雨欣	ZHAO YUXIN	Making You Funny: A Humor Support System for Avatar Robots	次世代AI	3			
5	Humor is complex and context-dependent. We propose a humor support framework for avatar robots, where large language models suggest context-sensitive humor to assist human operators. Deployed in a shopping mall, our system demonstrates how operator support can enable natural humorous interaction and enhance customer engagement.								
	情報学研究科 情報 学専攻	ZHUANG WENHUI	ZHUANG WENHUI	From FEM to Prediction: Learning Force-Induced Deformation Patterns from Visual Information	SPRING	3			
	In endoscopic surgery, tissue deformation under instrument forces is observed from single viewpoints. While surgeons estimate forces experientially, this knowledge remains subjective. This study combines extensive FEM simulations with data-driven visual AI to quantitatively decode force-deformation patterns from single-view observations.								
	Jアル/Materials								
7	理学研究科 化学専攻	安東 智大	ANDO TOMOHIRO	発光タンパク質イクオリンについての理論的研究	SPRING	3			
,	オワンクラゲから抽出るド手法を用いた解析を		リンにおける、基質分子セレンテラ	ジンの化学発光反応過程について、量子化学計算とMDシミュ	レーションのハ	イブリッ			
8	工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻	浅越 雄介	ASAGOE YUSUKE	化学刺激に応答したイオンチャネルのイオン透過路開閉運動 を解析する流体デバイス応用1分子計測	SPRING	1			
0	,	学刺激に応答してイオン透 を制御する1分子計測法	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	. 透過を制御する. この開閉運動の解析を目的に, 流体デバイ	スを用いてイス	トンチャ			
9	工学研究科 材料工学専攻	堂野 真由	DONO MAYU	超微細粒金属材料における特異な降伏現象の発現機構の 解明	SPRING	1			
<i></i> _		いて、結晶粒径は力学特 はその発現機構の解明を目		結晶粒の超微細化は高強度を齎すが、特異な降伏現象の発す	現と延性の著	しい低			
	理学研究科 化学専攻	KIM YONGJIN	KIM YONGJIN	5-アゾニアスピロ[4.4]ノナンカチオンを対成分とするTCNQ、 F4TCNQ錯体における柔粘性の発現	SPRING	1			
	AS[4.4]とTCNQの3 物性変化を示した。	 1:2塩は、AS[4.4]の秩序	-無秩序転移に伴う物性変化を	示した。AS[4.4]とTCNQ、F4TCNQの1:1塩も、柔粘性にま	己因すると考え	ishta			
11	理学研究科 化学専攻	松岡 航平	MATSUOKA KOUHEI	沖縄トラフの海底熱水におけるMoおよびWの濃度および安定同位体比の変動	SPRING	3			
11		p, Wは酸化還元によってその化学種が変化し、溶存態の濃度や同位体比に強く影響する。熱水中Mo, Wの濃度及び同位体比の分析によって、熱水活動で起っている化学反応を理解し、過去の気候変動の解析に役立つ。							

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.	研究紹介/Resea	arch Introduction							
12	工学研究科 材料工 学専攻	西脇 悠人	NISHIWAKI YUTO	QuadpodスキャナとHybrid-Loop復調を用いた高温・高速 液中qPlus AFM	SPRING	1			
12			zンサを用いた原子間力顕微鏡え 210 ℃の溶融Ga/PtGa界面の	生 (AFM) に, 新たに開発した高負荷用高温高速スキャナ (C 液中原子分解能分析を行った.)uadpodスキ	ヤナ) と			
12	理学研究科 化学専攻	上野 創	UENO SO	熱前駆体法を利用したアミド基連結ベンゾポルフィリン誘導体 の薄膜作製とトランジスタへの応用	SPRING	3			
13		有機半導体の高性能化には、電荷輸送に適した分子のパッキング構造が重要である。本発表では、熱前駆体法を用いて、アミド基を導入した種々のベンゾポルフィリン薄膜を作製し、それらのトランジスタ特性を報告する。							
1.4	工学研究科 合成·生 物化学専攻	王 萌初	WANG MENGCHU	生きた脳内のミクログリアの選択的化学標識と機能解析への 展開	SPRING	1			
14		ログリアは神経疾患の多くにする化学プローブの開発を行		質を変化させてしまい正確な機能解析が困難である。そこで、生	きた脳内でミク	<i>1</i> ログリ			
15	理学研究科 化学専 攻	呉 迪	WU DI	Development of multiple-resonance circularly polarized TADF materials and investigation of their photophysical properties	SPRING	2			
			mitter for circularly polarize properties and device perfo	ed luminescence (CPL). I designed and synthesized rmance.	l MR helice	nes			
16	工学研究科 物質エネ ルギー化学専攻	山極 剛	YAMAGIWA GO	銅触媒による1,2-ジエンのボラカルボキシル化反応	SPRING	2			
16	洞触媒による二酸化炭素を用いた1,2-ジエンのボラカルボキシル化反応を開発した。適切な配位子を用いて、3種類の位置異性体を作り分けることに成功した。また、DFT計算によって位置選択性の起源を解明した。								
17	工学研究科 分子工 学専攻	保田 悠花	YASUDA YUKA	Unlocking Forbidden Transition: Molecular Design for Highly Luminescent Pentaazaphenalene Emitters	SPRING	1			
	軽量・柔軟性・高い色再現性などの特長を持つ有機ELの新規発光材料としてiST材料が注目されている。その母骨格として有望な非発光性アザフェナレンの禁制遷 移を破り、高効率発光を実現する分子設計を確立した。								
	理学研究科 化学専攻	ZHU LINGKAI	ZHU LINGKAI	三次元Agナノ粒子超格子の合成と構造特異的機能	SPRING	3			
18	LSPR特性をもつナノ粒子の超格子は、LSPRカップリング現象によって新しい光学的な応用が期待される。本研究では、Agナノ粒子の3D超格子を一段階反応で合成する方法を開発し、その構造特異的な機能について検証した。								
健康	·医療·生命/H	ealth, Medical Scie	ences and Biostudies						
10	医学研究科 医学専 攻	DIANE ADACHI PAGANO	ADACHI PAGANO DIANE	Temporally specific activity of the medial orbitofrontal cortex mediates the formation of goal-directed behavior	SPRING	2			
19	that medial orbito	ofrontal cortex neuro	ns projecting to the dorsal	mechanisms remain unclear. Through operant to medial striatum are critical for forming novel goal- mediated by other neural substrates.		found			
20	医学研究科 医科学	青島 友葵	AOSHIMA YUKI	細胞競合を介した変異細胞排除におけるCD44の機能的役割	SPRING	1			
20			・ この細胞競合により上皮層から排 機構の制御メカニズムの解明に挑	除される。変異細胞で発現上昇する膜タンパク質CD44は変異 む。	黒細胞排除を	正に制			
24	生命科学研究科 高 次生命科学専攻	福田 瑞起	FUKUDA MIZUKI	Establishing an In Vitro Model for Urinary Tract Infections Using Organoid Technology	SPRING	1			
21	病原性大腸菌を原因 するin vitro UTIモラ		I)の感染動態や免疫応答の定	量的な評価系の樹立を目的とし、経時的解析や、厳密な実験	条件設定、を	で可能と			
	生命科学研究科 高 次生命科学専攻	福田 智徳	FUKUDA TOMONORI	光作動性人工転写因子の開発	SPRING	3			
22	哺乳類細胞や組織に	こおいて、光を用いて遺伝	子の発現を制御することができる人	、工転写因子の開発を行っている。					

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z) 	発表タイトル	採用 プログラム -	学年			
Poster No.	Affiliation 研究紹介/Resea	Name rch Introduction	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
		ren incroduction		Investigation of Factors Regulating the Lipid					
22	生命科学研究科 統合生命科学専攻	石川 由紀恵	ISHIKAWA YUKIE	Scramblase Assemblyramblase assembly	SPRING	1			
23	distribution of the	ipid scramblase is an important membrane protein for cells to adapt to environmental changes by altering the asymmetrical listribution of the lipid bilayer. Recently, we identified a unique scramblase activated by forming a heterodimer with another unctional protein. Here, I investigated how this protein interaction is regulated and activated.							
24	生命科学研究科 高 次生命科学専攻	伊藤 舞	ITO MAI	Identification of Organs that Rely on Mitochondrial ATP Production for Survival in Idh3a Knockout Mouse Models	SPRING	1			
		ミトコンドリアで産生されたATPが正常な機能に必須の役割を果たす臓器を同定し、その根底にある分子機構を解明することを目指し、独自に作製した遺伝子改変マウスを用いた研究を展開している。							
	農学研究科 森林科学専攻	JUE JUE	JUE JUE	Estimating Stand Volume in broad-leaved forest using drone LiDAR: plot based approach	SPRING	3			
25	estimating stand	volume in a broad-le		oortant, this study investigated the use of Drone Liel. A total of 23 forest survey plots were investigate ables.		mine			
26	工学研究科 マイクロエ ンジニアリング専攻	小石 翔太	KOISHI SHOTA	Development of an on-chip pancreatic adenocarcinoma model to investigate immune cell exclusion from the extracellular matrix in the tumor microenvironment	SPRING	1			
	findings show str	We developed a microfluidic pancreatic cancer (PDAC) model to study NK cell dynamics in an ECM-rich microenvironment. Our indings show stromal cells secrete paracrine factors that suppress NK cell infiltration. This platform is valuable for investigating mmune trafficking and evaluating drugs targeting stromal cells.							
27	農学研究科 応用生 命科学専攻	LIANG XINYANG	LIANG XINYANG	ケルセチンをタキシフォリンに変換する微生物酵素の機能解析	SPRING	3			
27		タキシフォリンはさまざまな生理活性が有するが植物抽出に依存する。本研究では微生物由来FLRを大腸菌で発現し、ケルセチンからタキシフォリンを生成することを明らかにし、酵素特性を評価した。							
28	医学研究科 医学専攻	MENG XINNAN	MENG XINNAN	Preclinical Exploration of iPSC-derived Mesenchymal Stem/Stromal Cell (iMSC) Sheets for Pressure Ulcer Therapy	SPRING	1			
	iPS細胞から作製した幹細胞シートを用いて、難治性褥瘡の治療を目指す研究です。マウスモデルでの治癒促進効果とその仕組みを検討しています。								
29	医学研究科 医科学	中村 英美里	NAKAMURA EMIRI	Turbulence Enhances Fine-Tuning of Mitochondria Delivery in Megakaryocyte Maturation Contributing to Biogenesis of High- Quality Platelets	SPRING	2			
	I investigate how turbulent fluid forces enhance the production of high-quality platelets from iPS cell-derived megakaryocytes. My work focuses on how mechanical stimuli influence intracellular actin remodeling and mitochondrial distribution, shedding light on fundamental mechanisms that could advance transfusion medicine and scalable platelet biomanufacturing.								
	薬学研究科 薬科学 専攻	西川 翔太	NISHIKAWA SHOTA	HMPA-GPR41シグナルを介した生理機能の解明	SPRING	1			
30	ポリフェノールの一種で 主生理機能に与える		腸内細菌によって代謝され、還元	- 5型フェルラ酸へと変換される。フェルラ酸および還元型フェルラ酸	がGPCRを介	して宿			
31	生命科学研究科 統合生命科学専攻	貫里 海斗	NUIZATO KAITO	生命現象の不確実性に着目した細胞競合モデル:ノイズと時間ゆらぎが排除基準に与える影響	SPRING	1			
		の高い細胞が低い細胞を い値をシミュレーションにより		研究対象とした。生命現象特有のノイズや時間ゆらぎを考慮し、	組織維持に	関わる			
32	理学研究科 生物科 学専攻	大川 理久	OKAWA RIKU	小脳プルキンエ細胞樹状突起での局所持続的Ca2+濃度 上昇	SPRING	2			
		濃度上昇は学習成立等()長期安定化に寄与する。		敗秒程だが、私たちは30分間続〈Ca2+上昇を発見し、関わる	生体分子を特	- 宇定し			
22	理学研究科 生物科 学専攻	杉本 優友	SUGIMOTO YUSUKE	蛍光プローブを用いた海馬シナプス長期増強の可視化	SPRING	1			
33		学校							

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年		
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year		
No.		rch Introduction						
34	医学研究科 医科学 専攻	鈴木 太朗	SUZUKI TARO	三次リンパ組織誘導による新規がん免疫療法の開発	SPRING	1		
	三次リンパ組織(TLS)は固形がん近傍にできる特殊なリンパ組織で、その発生は予後良好と相関する。特定のケモカインによってTLSを誘導することで、固まする新たな免疫療法の構築を目指す。							
	4- A 1144 THE STATE S			Stereochemistry of lysophospholipid				
35	生命科学研究科 高次生命科学専攻	巽 祐司	TATSUMI YUJI	diastereomers determines growth cone attraction and repulsion in biased agonism mechanism	SPRING	1		
			ucoside (LPG) guide pain-s vay in developing spinal co	sensing neurons by either attracting or repelling the	eir growth	cones,		
36	生命科学研究科 高次生命科学専攻	王 美惠	WANG MEIHUI	A Unique Genetically Engineered Mouse Model Reveals Temporal Dynamics of HIF Activity in Non-Cancerous Cells Infiltrating an Allograft Tumor	SPRING	2		
		□ ■胞が存在し、悪性形質を 伝子改変マウスを用いてア		ー ん細胞も低酸素刺激に曝されているが、がんの悪性形質に影響	! 『するかは不明	であ		
27	医学研究科 医学専攻	WANG YUQI	WANG YUQI	CaMKII液-液相分離の光遺伝学的制御による記憶エングラムの操作	SPRING	1		
37		aMKIIがシナプス内で液-ジメカニズムの解明を目指す。		に注目し、光遺伝学的手法でその解離を操作することで、神経	細胞スパインの	の形態		
38	理学研究科 生物科 学専攻	楊 霽	YANG JI	寄生か、それとも相利か?捕食者の記憶が擬態関係を左右する	SPRING	2		
	捕食者の学習と記憶 影響を解明した。	は、擬態関係を互利にも	寄生にも変化させ得る。 本研究に	・ 、連想学習を導入した理論モデルを通じて、捕食者の認知が携	疑態複合体に	与える		
39	工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻	YANG MEIXUAN	YANG MEIXUAN	Establishment of an iPSC-derived blood-brain barrier (BBB) model for investigation of dengue virus infection	SPRING	1		
39	The blood-brain barrier (BBB) is a highly specialized vascular structure that is crucial to preventing blood-borne viruses from accessing the central nervous system (CNS). In this research, we examined the functionality of the microfluidic BBB model composed of human iPSC-derived brain microvascular endothelial-like cells toward virus-BBB interaction analysis.							
	生命科学研究科 高次生命科学専攻	YAU AIYAN	YAU AIYAN	Elucidating the molecular mechanism underlying the precise regulation of differentiated cell ratio in mouse intestinal epithelium	SPRING	1		
	The intestinal epithelium contains a variety of differentiated cell types for essential physiological functions. Interestingly, cell type ratios are consistently maintained despite high turnover. Using multiplexed imaging and proliferation assays, crosstalk between differentiation-related transcription factors and cell cycle regulators was investigated, with patterns hinting early ratio establishment at TA zone.							
	生命科学研究科 高 次生命科学専攻	吉田 匠	YOSHIDA TAKUMI	Molecular Mechanism of ATAD2 Proteolysis under Hypoxia -Toward Overcoming Therapeutic Resistance in Hypoxic Cancer Cells-	SPRING	1		
41	solid tumors. We		an epigenetic regulator wl	xygen availability, has been recognized as a theraphich can overcome cell cycle arrest and the resistan				
	医学研究科 医学専攻	ZHOU YUYI	ZHOU YUYI	Clonal hematopoiesis in Schnitzler Syndrome	SPRING	1		
		ated with inflammation		atopoiesis (CH) in the onset of acquired inflammat sing Schnitzler syndrome (SchS), an acquired autoi				
環境	・エネルギー・複合	Environment, E	nergy and Interdisciplin	ary Studies				
	農学研究科 応用生 物科学専攻	赤瀬 まりな	AKASE MARINA	改変型FirmCut Platinum TALENを用いた高精度・高効率な新規遺伝子ノックイン技術の開発	SPRING	1		
43	DNAの二本鎖切断を し、高精度な遺伝子		」 外変異の導入が課題である。本研	I 开究では、二本鎖切断活性を抑制した改変型FirmCut Platio	num TALEN	↓ √を開発		

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.	研究紹介/Resea	rch Introduction							
	工学研究科 都市社 会工学専攻	CHARISMA NURIL	CHARISMA NURIL	Transforming Waste Materials into Revolutionizing Eco-Nucleating Agents for Enhancing the EICP Productivity	SPRING	2			
44	overcome the dra implement in the soil. Yet, further is study will develop potential charcoa analyzing soybea brown sugar as n expected to boos crystals. In additi	Recently, plant-derived urease enzymes, including those from soybeans, have shown the potential of EICP applications to overcome the drawbacks of bacterial urease (MICP) and synthetic chemical enzymes (EICP), which are costly and challenging to implement in the field. This method has proven its capability to stabilize the soil by reducing soil permeability and strengthening the soil. Yet, further investigation is required to improve stability under complex environmental conditions. To resolve these issues, this study will develop an advanced bio-nucleating agent, specify charcoal, combined with soybean-derived urease enzymes. The potential charcoal will transform into a valuable commodity as an eco-friendly agent, contrary to the prior studies that focused on analyzing soybean-derived urease enzymes combined with organic compounds, such as sucrose, sorbitol, skim milk powder, and provide the sugar as nucleating agents. This study aims to provide novelty in inventing and developing smart materials, which are expected to boost EICP productivity by absorbing the organic matter and providing minerals to strengthen the formation of CaCO3 crystals. In addition, it may reduce construction costs while aligning to achieve the objectives established by the Paris Agreement or improve sustainability, waste recycling, and climate resilience.							
45	工学研究科 都市社 会工学専攻	江夏 道晴	ENATSU MICHIHARU	数値シミュレーションを用いた金属鉱床の形成過程の再現	SPRING	2			
+3	本研究では、マグマかに関わる主要な要因		成される金属鉱床を対象に、化学	学反応を考慮した数値シミュレーションを用いて形成過程を再ず	心、金属鉱石	形成			
46	理学研究科 地球惑 星科学専攻	石崎 秀晃	ISHIZAKI HIDEAKI	帯状平均場の影響下における大気自由振動の固有値解析	SPRING	1			
40		見の固有振動現象である力 いる背景風の影響を調査し		解と観測結果の間には整合的でない特徴が確認される。この原	京因を解明する	るため、			
47	工学研究科 社会基 盤工学専攻	金子 峻	KANEKO SHUN	3-角と水没状態に伴う流木抗力の変化に関する研究	SPRING	1			
	甚大化する豪雨時の流木河川災害の対策には,流木挙動の予測が重要であり,流木の姿勢や水没状態と,流木に作用する水抗力の関係を知る必要がある。 本研究では流木模型の3-角と水没状態を変化させ抗力を計測した。								
48	工学研究科 都市社 会工学専攻	岸本 将英	KISHIMOTO MASAHIDE	非線形分離法による可視・反射赤外リモートセンシング画像 からの鉱物識別精度向上	SPRING	3			
10	リモートセンシング画像は、空間分解能の制限により一画素に複数物質が混在するため、鉱物組成を逆解析する技術が不可欠になる。そこで非線形混合モデルと正 則化手法を組み合わせたスペクトル分離法を提案する。								
49	農学研究科 森林科 学専攻	小島 隼星	KOJIMA HAYASE	きのこの細胞壁合成制御機構の解明とマッシュルームマテリア ルの物性改変	SPRING	1			
	きのこにユニークな細胞壁合成制御機構を明らかにする為、ヒラタケの細胞壁合成を制御する転写因子の機能を解析しました。さらにはその遺伝子欠損が菌糸体レザーやコンポジットの物性に及ぼす影響を調査しました。								
50	工学研究科 都市社 会工学専攻	草野 日向子	KUSANO HINAKO	メンタルモデルの組織間比較に基づく原子力災害広域避難 計画策定における合意形成の評価	SPRING	1			
	原子力災害時の市やション・合意形成の評		回について、関西地域を対象としメ	ンタルモデルを用いて関与した組織の比較を行うことで計画策策	官当時のコミュ	ニケー			
	工学研究科 建築学 専攻	LIU PEI	LIU PEI	京町家の浅井戸のヒートポンプ空調熱源とPVパネルの冷却 に活用する提案	SPRING	3			
51	ニティにすることは本研		まで熱源としての活用する方法を	で証明された。このタイプの浅井を活用し、京町家集合の街区 提案したが、今度は太陽光発電パネルの冷却と連携し、地下2					
52	農学研究科 応用生 物科学専攻	関口 敬大	SEKIGUCHI KEITA	A high-phosphorus diet promotes renal interstitial fibrosis in rats through the induction of partial epithelial-mesenchymal transition	SPRING	1			
		維化が認められる。近年、 EMTが線維化の進展に寄		が提唱されているが、報告は少ない。以上の背景から、本研究で	では、高リン負	荷ラット			
53	農学研究科 応用生 命科学専攻	関岡 風花	SEKIOKA FUKA	Candida boidiniiにおけるメタノール誘導性mRNAの時空間制御	SPRING	1			
, ,,		だなメタノール資化性酵母(こ関する研究を行っている。		ノール濃度が日周変動する葉面環境への適応機構としてのメタ	リール誘導性				

* [°] スター 番号	所属 Affiliation	氏名 Name	英語氏名(A - Z) Name in English	発表タイトル Presentation Title	採用 プログラム	学年 Year			
Poster No.		rch Introduction	Name in English	Presentation Title	Program	теаг			
	農学研究科 食品生 物科学専攻	鈴木 総一郎	ISUZUKT SOTCHTRO	生物活性トリテルペノイド・スキサンラクトン A およびガノデルマラクトン H の全合成研究	SPRING	3			
54	ラクトンHは抗マラリアだめ、多様な生物活性	スキサンラクトンAおよびガノデルマラクトンHはそれぞれ7/7/6/5員環が縮環した共通骨格を有するトリテルペノイドである。スキサンラクトンAは抗HIV活性、ガノデルマラクトンHは抗マラリア活性を示すことが報告されているが、それぞれの活性発現機構は解明されていない。そこで、当研究室ではこれらトリテルペノイドの複雑な骨格や、多様な生物活性を示す点に興味をもち全合成研究を開始した。本発表では当研究室で独自に開発したドミノ[4 + 3]環化付加反応を利用してこれらトリテルペノイドの全合成を達成したので報告する。							
55	農学研究科 食品生 物科学専攻	髙田 麻衣	TAKADA MAI	脱分化脂肪細胞の性状解析	SPRING	1			
55		脂肪細胞は熱産生機能の有無と組織部位の相違により3種に大別され、前駆脂肪細胞の分化により生じる。本研究では、由来脂肪細胞の異なる3種類の脱分化脂肪細胞を樹立し、それらの性状解析を行った。							
	Iネルギー科学研究科 I ネルギー応用科学専攻	WU JINGDA	WU JINGDA	アルキルアミン塩酸塩 – 塩化アルミニウム電解液を用いるアルミニウムイオン電池進捗	SPRING	1			
	アルミニウムイオン電池の電解液の選択肢の一つとして、アルキルアミン塩酸塩 – 塩化アルミニウムイオン液体を高性能化させる研究進捗、または本電解液を用いるアルミニウムイオン電池の開発成果を紹介します。								
57	工学研究科 社会基盤工学専攻	呉 許剣	WU XUJIAN	ダム放水路における摩耗防止のためのセルフライニング研究	SPRING	1			
5/	ダム放水路などでの摩 ます。	ダム放水路などでの摩耗を防ぐため、人工的な桟粗度を用いた水路実験により、流れと土砂の相互作用から形成される「セルフライニング」現象の仕組みを解明しています。							
	理学研究科 化学専攻	安村 洋輝	YASUMURA HIROKI	B/Cu(110)上における二酸化炭素水素化反応	SPRING	1			
58		原子配列の揃った銅(Cu)表面上に木ウ素(B)を蒸着させることで構造を制御したB/Cu表面を作成し、二酸化炭素や水素の雰囲気下で生成する吸着種を振動分光等の分析手法を用いて調べる。							

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用プログラム	学年		
Poster No.	Affiliation 研究紹介/Resea	Name arch Introduction	Name in English	Presentation Title	Program	Year		
γ Α		ities and Social Sci	ences					
7,2	教育学研究科 教育	有海 春輝	ARIUMI HARUKI	社会的地位と制御焦点の関連における自己愛の媒介効果	SPRING	1		
1	学環専攻 本研究では、オンライ			の検討 一オンライン創作活動に着目して一 る志向性である制御焦点について、従来オフラインの文脈で検				
	メーター理論に基づき							
2	人間·環境学研究科 人間·環境学専攻	中澤 平	NAKAZAWA TAIRA	マックス・ウェーバー社会学における感情の位置づけ	SPRING	2		
		言えば「合理化」「目的合きの新たな可能性を探求して		皮は感情に着目して行為や社会構造を分析していた、と発表者	省は考えていま	す。この		
2	文学研究科 行動文 化学専攻	谷 茉利子	TANI MARIKO	意味のある言語的差異をめぐって	SPRING	2		
3	人はことばについて、何 はことばの使用にどの。	_	。 あると判断をするのか。 また、それは	どのように「ああいう人たちの物言い」であると認識されるようにな	るのか。そうし	た知識		
4	教育学研究科 教育学環専攻	WOODMAN KATARINA LYNN- IRENE	WOODMAN KATARINA LYNN IRENE	サプライザル反応とアクセント・バイアスの相互作用が日本語 母語話者の理解に及ぼす影響	SPRING	2		
			思い込みに左右される。例えば「外 本語をどう知覚するかを明らかにす	国人は日本語を話せない」と考えると、実際に日本語を聞いた するものである。	とき理解が妨	げられ		
情報	•AI / Informati	cs and Al						
5	情報学研究科 情報 学専攻	阿竹 隼耶	ATAKE JUNYA	教育ビッグデータを用いた学校風土分析枠組みの構築	SPRING	1		
3		とにより様々な教育ビッグラ 築し、その分析枠組みを扱		:、こうしたデータを活用して教育環境の質や雰囲気を示す定量	指標である「き	学校風		
6	情報学研究科 情報 学専攻	TONG XIAOQING	TONG XIAOQING	Retraining-Free Blockage Prediction for Millimeter-Wave Communications Based on Minor Components of Angular Power Profiles	SPRING	2		
		The paper proposes a retraining-free blockage prediction scheme that exploits angular power profiles (APPs) enabling us to proactively control system parameters of millimeterwave (mmWave) communications systems.						
	情報学研究科 情報 学専攻	趙 雨欣	ZHAO YUXIN	Making You Funny: A Humor Support System for Avatar Robots	次世代AI	3		
7	models suggest o	Humor is complex and context-dependent. We propose a humor support framework for avatar robots, where large language models suggest context-sensitive humor to assist human operators. Deployed in a shopping mall, our system demonstrates how operator support can enable natural humorous interaction and enhance customer engagement.						
	情報学研究科 情報学専攻	ZHUANG WENHUI	ZHUANG WENHUI	From FEM to Prediction: Learning Force-Induced Deformation Patterns from Visual Information	SPRING	3		
	forces experientia	ally, this knowledge re		es is observed from single viewpoints. While surge dy combines extensive FEM simulations with data view observations.				
	<u> </u>	ence and Technolo	<u> </u>					
	理学研究科 物理学・ 宇宙物理学専攻	天野 玲	AMANO REI	Randomness-Induced Change in the Phase Transition Behaviors of Liquid-Crystal Models	SPRING	2		
9) 鉄が磁石の性質を持つよ 連続へ変わることを数値す		 ます.前者は不連続転移,後者は連続転移です.私達は液	晶の相転移力	 バランダ		
	理学研究科 物理学・ 宇宙物理学専攻	前田 潤	MAEDA JUN	Twisted partition functions as order parameters	SPRING	1		
	物質の相構造を調べ 相を判定できることを		うることが古くから知られている。本	ー 研究では対称性に対応するツイストした分配関数と呼ばれる量	を用いることで	様々な		
	理学研究科 物理学・ 宇宙物理学専攻	中川 昂星	NAKAGAWA KOUSEI	弱束縛の3体複合粒子系における普遍的性質	SPRING	1		
11	粒子同士の相互作用が非常に弱いときは様々な物理系に共通する普遍的な性質が見られることが知られています。本研究では原子核で実現される複合粒子の3体系についてその性質が見られるか議論します。							

ホ°スター	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用	学年		
番号	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	プログラム Program	Year		
Poster No.	研究紹介/Resea	rch Introduction						
	理学研究科 物理学・ 宇宙物理学専攻	若月 大暉	WAKATUKI TAIKI	分子運動論を利用した金融市場の取引コストの推定	SPRING	1		
12		・ 融経済学の学際研究です は引コストに注目し、理論解		- 分子運動論という解析手法を金融市場の数理モデルに適用し;	ます。本研究	では取		
マテ!	アル/Materials Sciences							
	理学研究科 化学専 攻	安東 智大	ANDO TOMOHIRO	発光タンパク質イクオリンについての理論的研究	SPRING	3		
13	オワンクラゲから抽出るド手法を用いた解析を		リンにおける、基質分子セレンテラ	・ ジンの化学発光反応過程について、量子化学計算とMDシミュ	レーションのハ	イブリッ		
14	工学研究科 マイクロエ ンジニアリング専攻	浅越 雄介	ASAGOE YUSUKE	化学刺激に応答したイオンチャネルのイオン透過路開閉運動を解析する流体デバイス応用1分子計測	SPRING	1		
14	•	学刺激に応答してイオン透 を制御する1分子計測法	•	. 透過を制御する. この開閉運動の解析を目的に, 流体デバイ.	スを用いてイオ	ンチャ		
	工学研究科 物質エネ ルギー化学専攻	CHEN ZHENGWEI	CHEN ZHENGWEI	Sm/SmI2-Induced Reductive Silacyclization of Alkene/Diene Derivatives Using Dichlorosilanes via Reductive Radical Polar Crossover	SPRING	3		
15	This reaction has	proven effective acro	· ·	rated organic compounds using readily available d ization modes, including some that have not been able reagents.				
	工学研究科 高分子 化学専攻	CHENG CHIA HSIN	CHENG CHIA HSIN	Cholesterol-Based Supramolecular Plastics with a Hierarchical Structure	SPRING	3		
16	cascading small r	molecules with dynam	nic bonding, could be rever	nakes most of them rarely recycled. Supramolecularisibly decomposed and recycled but low strength. Hastic by an ecofriendly cholesterol-based molecule	Here, we			
17	理学研究科 化学専 攻	KIM YONGJIN	KIM YONGJIN	5-アゾニアスピロ[4.4]ノナンカチオンを対成分とするTCNQ、 F4TCNQ錯体における柔粘性の発現	SPRING	1		
1,	AS[4.4]とTCNQの! 物性変化を示した。	1:2塩は、AS[4.4]の秩序	-無秩序転移に伴う物性変化を	宗した。AS[4.4]とTCNQ、F4TCNQの1:1塩も、柔粘性に起	己因すると考え	られる		
	工学研究科 物質エネ ルギー化学専攻	久保田 海	KUBOTA KAI	プラズモゾルをredox媒体として用いたミクロ液滴 プラズマ界面での反応制御の試み	SPRING	2		
18	一							
	工学研究科 分子工 学専攻	窪田 資久	KUBOTA MOTOHISA	光エネルギー変換系への応用を指向した有機 – 無機ハイブ リッド材料の開発	SPRING	3		
19	原子レベルに薄い二次 の系では初めての報告		とを用いて化学修飾し、光捕集と	 分散性を高めた系を作製した。特性評価により、自由電荷の生	上成を確認でき	き、類似		
20	工学研究科 高分子 化学専攻	KWAK SEUNGCHUL	KWAK SEUNGCHUL	Design of Acrylamide-Based Alternating Copolymers Carrying Tertiary Amine Pendant towards Sequence-Derived Stimuli-Response Properties	SPRING	3		
	本研究では、アミノ基の配列が精密に制御された多様な高分子の合成法を工夫し、アミノ基の配列と高分子の刺激応答性の相関関係を明らかにする。更に、アミノ 基の配列制御による新たな刺激応答特性の創生を図らう。							
21	理学研究科 化学専 攻	Taehwan Lee	LEE TAEHWAN	Synthesis of Green Multiple-Resonance Thermally Activated Delayed Fluorescence Material with deep HOMO and LUMO	SPRING	3		
	by substituting –I	NPh2 in ω-DABNA wit	h –C6H4–R via sequential a	ze these advantages, ω -DABNA-R-PH derivatives variation, borylation, and Suzuki coupling. The deficient optoelectronic potential.				
	理学研究科 化学専 攻	中谷 剛人	NAKATANI TAKETO	希土類金属化合物YbMn6Ge6の 単結晶育成とその物性	SPRING	1		
<i></i>	希土類金属化合物では磁気秩序を生じさせる力と抑制する力の競合により様々な物性が発現する。本研究では希土類元素とは別の磁性元素との相互作用で磁 気秩序を生じさせた場合にどのような物性が発現するか調べた。							

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.		rch Introduction							
23	理学研究科 化学専攻	根来 大基	NEGORO MASAKI	芳香族ポリイミドエアロゲルの化学構造と細孔構造の関係性	SPRING	3			
		エアロゲルは、ナノサイズの微細な細孔を有する低密度の多孔体です。本研究では、芳香族ポリイミドと呼ばれる有機高分子を主成分とするエアロゲルについて、その 化学構造と細孔構造の関係性について調査しました。							
24	理学研究科 化学専 攻	大賀 充陽	OOGA MITSUHARU	標的遺伝子の選択的抑制を目指したグアニン四重鎖構造を 誘起する化合物の創出	SPRING	2			
24		きであるグアニン四重鎖(分子を創出し標的遺伝子の		デ制御に関わる。本研究では、これまで困難だった選択性獲 <i>得の</i>	ためG4と近く	(の			
25	工学研究科 物質エネ ルギー化学専攻	田中 奏多	TANAKA KANATA	嵩高いホスフィン配位子で保護されたカチオン性鉄55核ナノ クラスター	SPRING	2			
25	本研究では、クラスタ	- 化学の未踏領域であった	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	説する。	,			
26	理学研究科 化学専攻	内田 大地	UCHIDA DAICHI	1,4-ジゲルマシクロペンタ-1,3-ジエンの合成と性質	SPRING	3			
26	本研究では、2つのG	e=C結合を有する14-ジ	デルマシクロペンタ-1,3-ジエンの合	。 成に初めて成功し、単結晶X線結晶構造解析によってその構造	造を決定した。	,			
	工学研究科 材料工学専攻	王 春雨	WANG CHUNYU	Effect of grain size on the mechanical properties and deformation behavior of Mg-0.9Y-1.0Zn alloy	SPRING	3			
27	In this study, we have carried out systematic observations of deformation microstructures for revealing the influence of grain size on the change of dominant deformation modes in Mg-Y-Zn alloy. We found that plastic deformation of coarse-grained specimen was predominated by $<$ a $>$ slip and $\{10-12\}$ twinning, and the quick decrease of work-hardening rate was mainly due to the saturation of deformation twins. For the UFG specimens, $\{10-12\}$ twinning was dramatically suppressed, while $<$ c+a $>$ slip systems were activated in more grains, which contributed significantly to the enhanced work-hardening rate leading to high strength and large ductility								
28	工学研究科 高分子 化学専攻	渡辺 啓太	WATANABE KEITA	超分子プラスチックの力学特性向上の試み	SPRING	1			
20	超分子ポリマーは新たな環境調和型材料として注目を集めている。しかし、動的であるがゆえに強度が劣る課題がある。本研究では、分子設計と加工プロセスを利用 し、超分子材料の力学特性向上への試みを検討している。								
29	薬学研究科 薬科学 専攻	山崎 太輔	YAMASAKI DAISUKE	抗体を用いた細胞内タンパク質の制御	SPRING	1			
29									
健康	·医療·生命/H	ealth, Medical Scie	ences and Biostudies						
	理学研究科 生物科学専攻	相磯 豪志	AISO TSUYOSHI	植物の体内時計と温度の不思議な関係	SPRING	2			
30	植物の体内時計は暑	」 書さや寒さに左右されにくい。	とされています。その不思議な仕組	目みを、葉の葉緑体に注目して明らかにしようとしています。					
24	医学研究科 医科学	青島 友葵	AOSHIMA YUKI	細胞競合を介した変異細胞排除におけるCD44の機能的役割	SPRING	1			
31		」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
32	医学研究科 医学専攻	藤田 暁	FUJITA AKIRA	Generative AI for 3D Reconstruction from a Single X-ray Image: A Novel Approach to Acetabular Cup Alignment Assessment	SPRING	4			
				o generate 3D CT images from single anteroposter accuracy of implant orientation measurements on		СТ			
33	医学研究科 医学専攻	藤原 拓朗	FUJIWARA TAKURO	クライオ電子顕微鏡法によるボルナ病ウイルス1型の核タンパク質-リン酸化タンパク質複合体の立体構造解析	SPRING	2			
<i></i>	ボルナ病ウイルス1型はヒトを含む哺乳類に致死性脳炎を引き起こす。本研究は、ウイルスの複製複合体の構成因子である核タンパク質とリン酸化タンパク質からなる 複合体の精密立体構造をクライオ電子顕微鏡法で解明した。								

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年		
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year		
No.	研究紹介/Resea	rch Introduction			ı			
	薬学研究科 薬学専攻	花田 毅己	HANADA TOSHIKI	プロテオミクスによるBRAF下流因子の大規模解析	SPRING	2		
34	4 本研究では、キナーゼの下流因子を以下の3観点から網羅的に解析した。 1 . キナーゼの誘導/阻害によるリン酸化修飾の増減 2 . 架橋反応による相互作用の有無 3 . 既存データベースによる基質配列の特徴抽出							
	生命科学研究科 高次生命科学専攻	平井 哲	HIRAI TETSU	Mechanism of Cell-State-Dependent SMAD signaling Responses under Differential Ligands	SPRING	1		
35	_	cine. We aim to eluci		ntiation and cell death which are significantly imponich a single signaling pathway selects different res		th		
36	医学研究科 社会健康医学系専攻	桧山 きらら	HIYAMA KIRARA	自己免疫疾患患者のヘルスリテラシーがセルフマネジメントおよび疾患活動性に与える影響の解明	SPRING	2		
30		東情報を探索、吟味し生活 要学的手法を用いて検証し		は、自己免疫疾患患者のヘルスリテラシーがセルフマネジメント	や疾患活動性	Eに与え		
37	理学研究科 生物科 学専攻	堀川 湧	HORIKAWA YUU	生物発光レポーターの発光概日リズム生成機構の解析	SPRING	1		
37		計)の研究をウキクサという かった新奇的概念を提唱し		究しています。概日時計研究に重要な生物発光測定の詳細な	理解に向けて	こ、これ		
38	生命科学研究科 高次生命科学専攻	黄 献閱	HUANG XIANYUE	Pharmacological characterization of lyso thiosquarylglucoside JA1, a synthetic candidate non competitive antagonist of G protein-coupled receptor GPR55	SPRING	3		
	I study GPR55, a lipid-sensing receptor with unclear functions in brain development. By developing inhibitors and applying them in mouse models, I aim to reveal its role in neuronal signaling and prepare for future studies of granule cell migration.							
39	生命科学研究科 高次生命科学専攻	伊藤 舞	ITO MAI	Identification of Organs that Rely on Mitochondrial ATP Production for Survival in Idh3a Knockout Mouse Models	SPRING	1		
	ミトコンドリアで産生されたATPが正常な機能に必須の役割を果たす臓器を同定し、その根底にある分子機構を解明することを目指し、独自に作製した遺伝子改変マウスを用いた研究を展開している。							
	医学研究科 医学専攻	LIANG KAIYUAN	LIANG KAIYUAN	Enhancing Cardiac Chip Maturation through the Combination of Multiple Maturation Strategies	SPRING	1		
40	model cardiac tiss stimulation may	sue but remain imma	ture. Metabolic remodeling ce maturation, improving c	Heart-on-a-chip platforms using hiPSC-derived can g, PPARa activation, proepicardial co-culture, and e contractility, calcium handling, and electrophysiolog	electrical			
41	農学研究科 応用生 命科学専攻	松本 大空	MATSUMOTO HIROTAKA	Evaluation of the effects of sevoflurane, isoflurane, and desflurane on ion permeability of Bilayer lipid membranes	SPRING	1		
41	Inhalation anesthetics accumulate in bilayer lipid membranes, enhancing ion transport despite the membrane's barrier function. Electrochemical measurements show that these anesthetics increase ion transport currents, likely due to increased dielectric constant and ion concentration within the membrane.							
42	医学研究科 医学専攻	MENG XINNAN	MENG XINNAN	Preclinical Exploration of iPSC-derived Mesenchymal Stem/Stromal Cell (iMSC) Sheets for Pressure Ulcer Therapy	SPRING	1		
	iPS細胞から作製した	・ 幹細胞シートを用いて、難 	#治性褥瘡の治療を目指す研究 	です。マウスモデルでの治癒促進効果とその仕組みを検討してい	ます。			
43	生命科学研究科 統合生命科学専攻	貫里 海斗	NUIZATO KAITO	生命現象の不確実性に着目した細胞競合モデル: ノイズと 時間ゆらぎが排除基準に与える影響	SPRING	1		
.5		の高い細胞が低い細胞をいるといっとことの		开究対象とした。生命現象特有のノイズや時間ゆらぎを考慮し、	組織維持に	関わる		

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年		
Poster No.	Affiliation 研究紹介/Resea	Name arch Introduction	Name in English	Presentation Title	Program	Year		
	理学研究科 生物科							
44	学専攻	任 希曼	REN XIMAN	ホヤ胚の神経板前方境界領域の発生	SPRING	3		
44	ホヤ胚ANB細胞は着口陥の発生を調節す		目同であり、BMPシグナルが誘導を	促進しWntシグナルが抑制的に作用することで、FoxgやSix1/	′2を介し付着	突起や		
45	医学研究科 医科学	鈴木 太朗	SUZUKI TARO	三次リンパ組織誘導による新規がん免疫療法の開発	SPRING	1		
73	三次リンパ組織(TLS する新たな免疫療法	,	特殊なリンパ組織で、その発生は	予後良好と相関する。特定のケモカインによってTLSを誘導する	ことで、固形だ	がんに対		
	医学研究科 医科学	WANG CHENXI	WANG CHENXI	Chracterizing hippocampal neural activity during mouse social behavior	SPRING	1		
46	individual conspe	cifics, focusing on the		memory. Our study aims to examine how it distin to clarify CA2's role in social identification and its crecognition.		to		
47	理学研究科 生物科 学専攻	楊 霽	YANG JI	寄生か、それとも相利か?捕食者の記憶が擬態関係を左右する	SPRING	2		
47	捕食者の学習と記憶 影響を解明した。	は、擬態関係を互利にも	・ 寄生にも変化させ得る。 本研究は	は、連想学習を導入した理論モデルを通じて、捕食者の認知が携	疑態複合体に	与える		
48	医学研究科 医学専攻	YANG YICHEN	YANG YICHEN	Brain functional connectivity in patients with anorexia nervosa before and after cognitive behavioral therapy	SPRING	2		
	In recent years, non-invasive cognitive behavioral therapy (CBT) has been increasingly utilized in the treatment of anorexia nervosa. The present study aims to elucidate the neural mechanisms underlying treatment-related brain alterations.							
49	生命科学研究科 高 次生命科学専攻	吉田 匠	YOSHIDA TAKUMI	Molecular Mechanism of ATAD2 Proteolysis under Hypoxia -Toward Overcoming Therapeutic Resistance in Hypoxic Cancer Cells-	SPRING	1		
43	Hypoxia, a tumor microenvironment characterized by reduced oxygen availability, has been recognized as a therapeutic target in solid tumors. We are now focusing on an epigenetic regulator which can overcome cell cycle arrest and the resistance to anticancer drugs or radiotherapy in hypoxic cancer cells.							
環境	・エネルギー・複合	合/Environment, En	nergy and Interdisciplin	ary Studies				
F0	工学研究科 都市社 会工学専攻	穐山 拓実	AKIYAMA TAKUMI	不均一地球化学平衡に基づく低温噴気を用いた熱水系温度推定:九重火山への適用と評価	SPRING	1		
50		突発的に発生する水蒸気噴火の災害リスク軽減には、地下熱水系の挙動解明が重要である。数10年~100年周期で水蒸気噴火を起こす九重火山を対象に熱水系の温度を低温噴気ガスの化学組成に基づき推定した。						
F1	Iネルギー科学研究科 I ネルギー社会・環境科学 専攻	SETYAWATI Citra Endah Nur	CITRA ENDAH NUR SETYAWATI	Unfolding multi-system interactions: hydrogen pathways to accelerate a just transition in ASEAN	SPRING	2		
51	and green hydrog	gen adoption. It integ		ops frameworks to analyze the sequencing process ice, and geopolitical perspectives to support indust graphon neutrality goals.		lue,		
	工学研究科 都市環 境工学専攻	韓 旻光	HAN MINGUANG	活性汚泥における医薬品の生物変換	SPRING	2		
52		- 水処理を経て水環境に流 医薬品汚染の低減を目的		異常を引き起す。活性汚泥中微生物による医薬品の生物変技	ぬ産物を解析	し、その		
	農学研究科 食品生 物科学専攻	井上 蓮太郎	INOUE RENTARO	食シグナルの分子基盤解明	SPRING	1		
53	食品タンパク質消化物 プチド合成を用いて包		プチドが含まれる。この膨大な分子	子種が消化管ホルモンシグナルを介して生体に及ぼす作用を、網	羅的解析と	自動ペ		
F4	工学研究科 都市社 会工学専攻	草野 日向子	KUSANO HINAKO	メンタルモデルの組織間比較に基づく原子力災害広域避難 計画策定における合意形成の評価	SPRING	1		
54	原子力災害時の市代ション・合意形成の評		回について、関西地域を対象としメ	ソンタルモデルを用いて関与した組織の比較を行うことで計画策定	三当時のコミュ	ニケー		

ポスター 番号	所属	氏名	英語氏名(A - Z)	発表タイトル	採用 プログラム	学年			
Poster	Affiliation	Name	Name in English	Presentation Title	Program	Year			
No.	研究紹介/Resea	研究紹介/Research Introduction							
55	Iネルギー科学研究科 I ネルギー社会・環境科学 専攻	丸一 泰子	MARUICHI YASUKO	バイオプラスチック生産に向けたセルロース熱分解糖化の分子 レベルアプローチ	SPRING	1			
		生成する無水糖レボグルこ してLGの生成機構解明を	-	てバイオプラスチック原料を生産できる。本研究では、セルロースの	D結晶性や微	量に含			
56	農学研究科 森林科 学専攻	三本 勇貴	MIMOTO YUUKI	木材の宇宙・放射線利用に向けた基礎的研究	SPRING	1			
30		宇宙や放射線環境での利用に向けて、木材が放射線でどう変化するのか(放射化、物性変化)や、放射線が木材でどう変化するのか(遮蔽性能)について、実験やシミュレーションを用いて研究している。							
57	理学研究科 地球惑 星科学専攻	仲俣 翔登	NAKAMATA SHOTO	陽解法二相流数値モデルによる砕波の数値計算	SPRING	1			
57	水面波の砕波は大気海洋境界での運動量などの交換に深く関わる。数値的な問題により、精密な砕波の数値計算には未だ困難が残る。本研究では、それを解決 しうる、近年提案された弱圧縮手法で砕波の数値計算を試みる。								
58	農学研究科 食品生 物科学専攻	高田 麻衣	TAKADA MAI	脱分化脂肪細胞の性状解析	SPRING	1			
30	脂肪細胞は熱産生機能の有無と組織部位の相違により3種に大別され、前駆脂肪細胞の分化により生じる。本研究では、由来脂肪細胞の異なる3種類の脱分化脂肪細胞を樹立し、それらの性状解析を行った。								
F0	農学研究科 森林科 学専攻	上野 敬紀	UENO TAKANORI	液晶性キシランエーテルの合成: アルキル鎖長がリオトロピック 液晶性に及ぼす影響	SPRING	1			
59		アルキル鎖長が異なる4種の完全エーテル化キシランを合成した。これらキシランエーテルのジクロロ酢酸濃厚溶液中におけるリオトロピック液晶性を評価し、アルキル鎖 長が液晶形成挙動に及ぼす影響を検討した。							
60	人間·環境学研究科 人間·環境学専攻	渡辺 蕗	WATANABE FUKI	スミレ科オオバキスミレにおける遺伝子浸透を介した多雪環境 への適応プロセスの解明	SPRING	2			
60	・								